

I B L : Innovative Business Laboratory

「“ニーズギャップ×新技術”で未来事業を発想する研究会」
のご案内

2024年7月

株式会社リーディング・イノベーション

本研究会の目的

未来に向けた事業の企画立案は、やりたいと思うものの難しいと感じている企業は多いのではないのでしょうか。不確定な未来の事業開発を目指すのですから、難しいのは当然と言えます。

未来に必要な事業を考えようとする場合、「未来に生まれるニーズを予測する」という発想から出発することが一般的なアプローチだと思います。しかし、このアプローチには長所も短所もあります。色々なアプローチがある中で、本研究会は、「ニーズギャップと新技術の組み合わせから未来の事業を発想」という進め方で推進したいと考えています。

ニーズギャップとは「理想と現状とのギャップ」もしくは「欲求の本質と現状とのギャップ」のことを言います。すなわち、理想や欲求の本質とのギャップがあるのであれば、そのギャップを埋めるような商品・サービスを提供することにより、現状を置き換えることができるという考え方であり、アイデア発想のひとつやり方になります。この考え方は、弊社独自のものとなります。

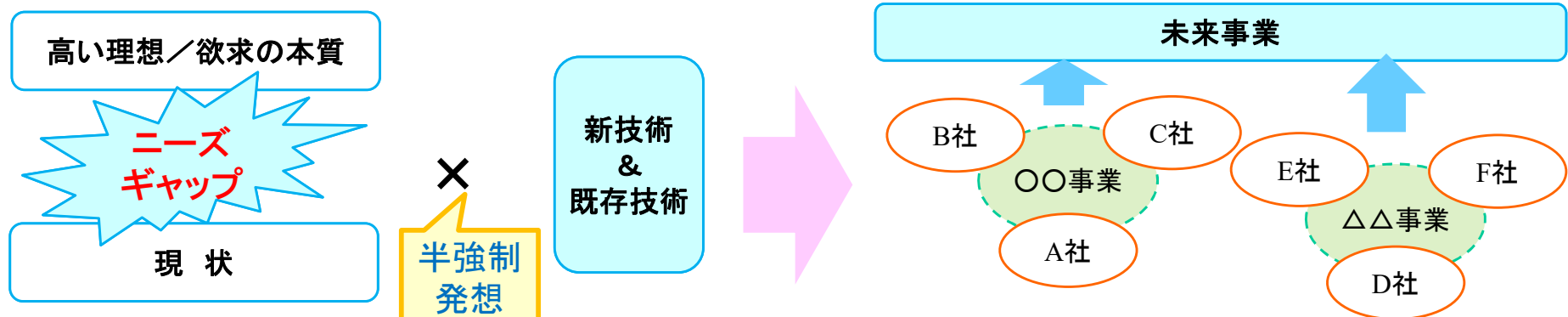
ニーズギャップを埋めることが難しい場合や高い理想の実現を目指す場合、実現手段の開発に時間がかかり、必然的に未来の事業を開発することにつながります。すなわち、ニーズギャップを埋めるという考え方が未来に必要な事業開発につながるようになります。

次に、新技術についてですが、ユニークな技術が新市場の創出につながる事例は数多くあります。生成AIという技術から新しい商品やサービスが生まれているのを見ても、新技術は未来の事業を生み出す源(みなもと)になることは間違いないと思います。ただし、すべての新技術が新たな市場を生み出すことはなく、ニーズギャップと新技術の組み合わせが揃った時に、新市場という未来の事業が生まれるものと考えます。

本研究会は、ニーズギャップと新技術の組み合わせの考察から未来の事業アイデアの構想立案を目指しています。そして、この研究会がきっかけとなって企業のコラボレーションが生まれ、これまでにないユニークな事業が創出されること願うものです。

様々な業種やビジネスレイヤーの企業のご参加をお待ちします。

よろしく、ご参加のほどお願い致します。



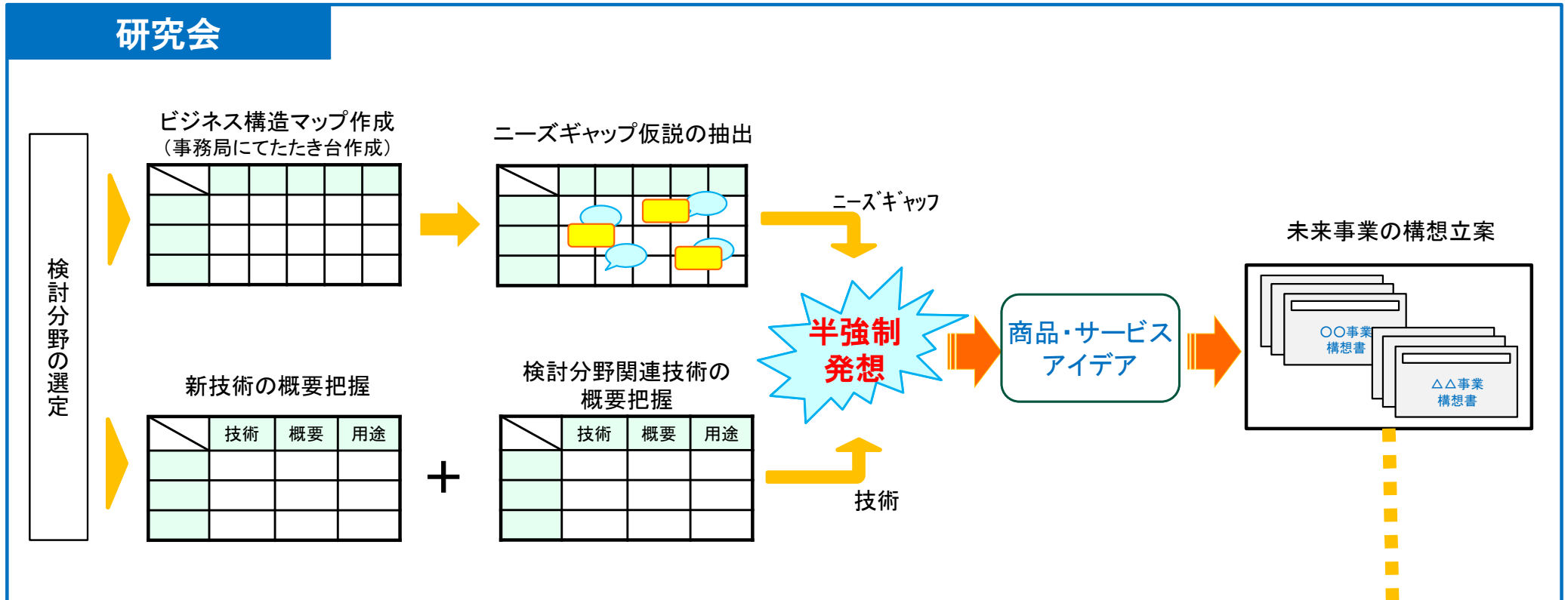
ニーズギャップを埋めて未来を創る

機能等を分け合うコラボの時代

研究会の全体像

本研究会は、まずは、検討対象分野をビジネス構造マップを使って構造化して上で、ニーズギャップ仮説を洗い出す作業を行ないます。そして、もう一方では新技術（一部、関連する既存を含む）の洗い出し作業を行ないます。そして、ニーズギャップと新技術の組み合わせによる半強制発想を行なうことで未来に必要とされる商品・サービスを発案しようとするものです。

これらの作業を参加者の方々と行っていき、ワークショップ型の実践的研究会になります。



●検討対象分野について

本研究会は、今回が1回目となりますが、1回目の検討対象分野は以下になります。

環境エネルギー分野

実践チーム経成
(コラボチーム)

ユニーク事業の
ビジネスモデル検討

研究会の進め方

●研究会の開催頻度

1回/3週間程度の頻度にて研究会を開催します。開催時間は、13:00～16:00の3時間を予定しています。なお、代理出席は可能です。代理出席もできなかった場合は、後日事務局にて検討の内容をお伝えします。

また、必要に応じ、研究会の間に検討を進めるための短時間ミーティングを行います(参加は自由)。

研究会の 開催頻度

1回/3週間
時間 13:00～16:00

短時間 ミーティング

必要に応じ、検討会と検討会の間に実施(1時間～2時間程度)

●開催予定(2024年9月～12月)

- 1回目:9月12日(木) 13:00～16:00
- 2回目:10月3日(木) 13:00～16:00
- 3回目:10月24日(木) 13:00～16:00
- 4回目:11月14日(木) 13:00～16:00

●開催方法

原則、Zoomによるオンライン
ただし、1回程度リアル開催を予定

●参加費

一名様あたり 150,000円(消費税別)。

代理出席可。

お申し込み後に御請求書を送付しますので、指定の口座へお振り込みいただきます。

●申し込み方法

・下記メールアドレスに、必要事項(会社名、住所、部署名、役職、氏名、TEL、メールアドレス)を添えてお申し込みください。

株式会社リーディング・イノベーション
東京都千代田区丸の内2-2-1 岸本ビルディング6階
高橋 takahashi@lead-in.com

【お問い合わせ先】

芦澤: ashizawa@lead-in.com

TEL 03-5953-8950 FAX 03-5953-8862

参考) これまでに研究会にご参加いただいた主な企業(順不同)

日立製作所、ブラザー工業、NEC、富士ゼロックス、大和ハウス、日本たばこ、石川播磨重工業、トピー工業、神戸製鋼所、リクルート、コクヨ、ナブテスコ、アステラス製薬、日立化成、リコー、パナソニック、ソニー、東京ガス、古河電工、三井不動産、松和印刷、理想科学工業、インタースペース、コニカ・ミノルタ、ヤンマー、アルプス電気、セガ、太平洋セメント、日本信号、竹中工務店、GAC、インクス、ダイセル化学工業、村田機械、トプコン、日立ソリューションズ、ブラザーエンタープライズ、三菱化学、NTTコミュニケーションズ、日東電工、日本信号、セイコーエプソン、日本曹達、東京プリント、セコム医療システム、ラムセル、味の素、住友化学、カルピス工業、リンテック、旭化成ケミカルズ、旭化成、横河ブリッジ、NECソリューション・イノベーターズ、佐藤工業、京王電鉄、デンソー、ニックス、都築電気、フジクラ、三菱化工機、スカパーJSAT、巴商会、OMデジタルソリューションズ、積水インテグレートリサーチ、トッパン・フォームズ、FCNT、全日空商事、小泉産業、両備システムズ、東京計器、ヒューマックス、クレハ、日本特殊陶業、東海理化、パナソニック インダストリー、ミツミ電機、トクヤマ、ナミックス、TOPPAN、長谷エアネシス、日清紡ホールディングス